2026 年 6 月 5 日作成（第 3.0 版）

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学産科婦人科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

２０２５年　11 月

福島県立医科大学産科婦人科学講座　添田　周

■ 研究課題名

婦人科がんの診断・治療に有用な新規標的タンパク質の同定

■ 研究期間

２０２５年１１月　～　２０３０年３月

■ 研究の目的・意義

卵巣がんにおいて、できるだけ患者さんに負担をかけずに早期に発見し、治療を開始する試みが長い間行われてきました。中でもがん患者さんを鑑別する目的で、血液の中に含まれる腫瘍マーカーと呼ばれるタンパク質を用いた検査が行われています。しかしながら今のところ、全ての方を間違いなく婦人科がんと診断できるタンパク質は見つかっていません。

私たちはこれまで、様々な患者さんの血液やがん組織に含まれるタンパク質を全て同定する方法を用いて、診断に役立つタンパク質、予後を予測できるタンパク質、治療に有用なタンパク質などを見つけてきました。この研究は婦人科がんの早期診断・治療標的として有用であるタンパク質を探すことを目的としています。そのために、腹水に含まれているがん細胞や抗体、手術から得られるがん組織、血清から得られた抗体を研究に用います。

■ 研究対象となる方

2021 年 1 月～2025 年 10 月の期間において、『卵巣がんの治療に有用な新規バイオマーカーの開発(倫理申請番号：一般 2021-057)』、『卵巣がんの早期診断に有用な新規バイオマーカーの開発(倫理申請番号：一般 2021-180)』へ参加し、腫瘍組織、腹水、血清が保存されている方を対象とします。卵巣癌症例 29 症例、婦人科良性疾患症例 27 症例が対象となります。

■ 研究の方法

血清については、タンパク質や抗体の解析を行います。腹水については、含まれているがん細

胞を精製し、その表面に発現しているタンパク質を解析します。卵巣がんの新しい治療標的となるタンパク質や早期診断に有効なタンパク質を探します。を探します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

２０２５年１２月１日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座であり、研究責任者は産科婦人科学講座　添田　周です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長　鈴木 弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座で利用し解析を行います。

■他の機関などへの試料・情報の提供について

収集された試料の一部は、解析のため委託先である名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所分子構造センター、北里大学理学部疾患プロテオミクスセンターへ提供し、タンパク質の解析を行います。研究 ID と解析に必要な情報のみを提供します。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先
〒960-1295　福島県福島市光が丘 1 番地
公立大学法人福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座　担当：藤森　実杜
電話：024-547-1290
Email：obgyn@fmu.ac.jp